



ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2024 vol.1

E. R. F. C. 清里ミーティング報告号

『ERFC清里ミーティング』へのご参加ありがとうございました

去る11月10日、5年振りにホールイベントも含むフル開催に戻った「E.R.F.C.清里ミーティング」は、多くの参加者をお迎えして無事開催することができました。ご報告のプレスをお送りします。



清里ミーティングにご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

まずは今回、当ミーティング史上最高倍率となり、申し込みのうち約4割ほどの皆さんをお断りしなくてはならず、図らずも常連さん含む多くの皆さんが選に漏れてしまったことをお詫び申し上げます。

さて久しぶりの「正調」清里ミーティング当日は絶好の・・・ではない曇天。向かいの山も雲に隠れ、午前中は時々細かな霧雨が降るという状況ではありましたが、幸いにも傘が必要なほどの降りになることは無く、午後のフリータイムには雨もほぼ止んでくれましたね。青空の下とはいかなかったものの、久しぶりに食べる清里弁当はいかがだったでしょうか。

午前中には5年ぶりにゲストのトークも復活し、休止と変則版を挟んでようやく元の清里へと帰ってきた気がします。

次の機会にはぜひ青空の下でお会いしたいですね。

(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 豆蔵)

続いては、スタッフからのイベント報告のひとつとふたこと。

「宗さん最後の清里ミーティング？」

皆さんが楽しみにしている清里ならではの「座学」。

復活には、まず「ゲストをどうするか？」となります。

毎回、マツダやRCOJと相談しながら決めるのですが、商品開発本部の宗さんこと山口さんと、カスタマーサービス本部の伏見さんにスタッフから早々に打診し、内々に了解を得ていたため、すぐに正式に承諾いただけました。

第一部「限定車の考え方/作り方」、第二部「部品供給の難しさ」でトーク内容が決まり、さらに開催の少し前になって、35周年車担当の杉本さんも参加されることになりました。

今回、山口さんの自己紹介から始まりましたが、プロジェクトマネージャー職は既に杉本さんに引き継いでいることが伝えられました。

そのあと、歴代の限定車のコンセプトや課題、始末書沙汰になったクラシックレッド問題など、限定車を作るうえでの苦労をお話いただき、杉本さんに交代。

35周年車はCX-60同色の塗装だけでも、設備投資やラージ商品以外への採用可否などの問題があり、過去同様に多くのハードルを越えて生み出されたと、後任者の立場からお話しされました。

最後の伏見さんには最新のレストア状況と部品調達の課題について情報をいただき、35年前の思いは、今もマツダや私たちファンには続いていることを再認識しました。

なお、残念なことに山口さんは近く退職が決定しており、マツダ社員としては今回が最後の参加になりました。

イベント終了後に「もうマツダの資料を使ってのお話しはできない・・・」とおっしゃっていましたが、ロードスターを創ったおひとりとして、そしてファンとして清里にきっと来てくださると思っています。

(ゲスト渉外担当：片貝)



「はしゃぎ過ぎました」

昨年は久しぶりの「通常開催」でしたが、皆さんは楽しまれたでしょうか。天気は前日の快晴から打って変わって、時々霧雨が降る生憎の天気でした。

けれど参加者の皆さんは、そんな事を気にする素振りもなく、ホッと胸を撫で下ろしております。あ

りがたいことです。

さて、今年の駐車場ですが昨年同様「ナナメ 45 度駐車」を採用しました。これは「停めやすさ」「出やすさ」「クルマへの光の当たり具合」を考慮した結果です。皆さんの愛車が写真映えするよう、スタッフ一同努力しました。

そしてもうひとつの私の仕事は「弁当の掛け紙作り」。今年は久しぶりの弁当復活で張り切りました。メインモチーフは「RF」。ベースには千代紙を貼り付け、和風テイストに。そしてRFのまわりには、過去の掛け紙に使用した図柄を散りばめて、華やかさを演出しました。

さらに弁当復活と共に「当たり」も復活しました。当たった方には「歴代おみやげ詰め合わせセット」をプレゼントさせていただきました。そしてもしも SNS にアップする場合はくれぐれも「清里ミーティングで弁当に当たった」と、誤解を招くような表現は避けるようお願いしたのは、言うまでもありません(苦笑)。

久しぶりの通常開催と言うことで参加者の皆さんもテンションが上がったと思いますが、かく言うスタッフである私もテンションが上がってしまいました。清里入りしたエブリイにはERFCステッカーを自作して貼り付け、勝手に「オフィシャル車両」を名乗ったり、頼まれもしないのにNBのノボリを立てたり、NCの巨大ビニール製ポスターを貼り出したり…。挙句の果て初めてフリマまで出店してしまいました。しかしどれもこれもイベントを盛り上げ、参加された皆さんに楽しんでいただくための振る舞いと、ご理解いただければ幸いです。



(駐車場・掛け紙担当/まえだ)

久しぶりのフル開催の清里ミーティング、お楽しみ頂けましたでしょうか。

申し込み受付のあれこれと当日の駐車場誘導をやったわだです。

フル開催ということはホールイベントがあるということで、スタッフは前日・当日共に何度も清泉寮の本館ホールと牧草地の間を往復することになります。



前回・前々回の「おはよう清里」ではほぼ牧草地内でイベントが閉じていたのに比べると以前のフル開催時に比べ牧草地の駐車エリアとホール間の距離も少し伸びており、更にスタッフも年齢を重ねて

おり…運動量というか足腰への負担がかなり違います。

「おはよう清里」の緩い運営に慣れたカラダには正直チトつらかったデス。

とはいえ、参加者の皆さんが笑顔で帰途につくのを見ると、足取りが少しは軽くなるってもんで…。ところで、豆さん、来年って清里、あるんですっけ？少しは事前に足腰鍛えとこうかな…。

(わだ)

朝の受付担当は仮の姿、午後は物販担当と見せかけておいてその実体は・・・皆様こんにちは、清里ミーティング初回から連続参加記録更新中のつの@にしです。

清里ではいつも受付を担当しているとはいえ、ホールでやるのは久しぶりでした。あっちこっちホロボロビが出ましたが、うちのイベントに参加される方は皆さん心が広いので、どうにかやり終えることができました・・・本当にありがとうございます。

そして、そこでお土産としてお渡ししたTシャツ。その企画と製作担当が、今年はワタシだったのでした。

清里で草の上に並ぶ色とりどりのロードスター、を勝手にイメージして12色もバリエーションを作っちゃったのは完全に勢いだけです。ランダムでお渡ししたので、お気に召さない色のものだった方も



もおられるかも知れませんが、それもイベントのうち！ということでどうかご容赦を。

ところで、参加者の皆様にお聞きしたいことがひとつ。午後、駐車場での物販の際にチラホラ聞こえてきたのですが・・・Tシャツのサイズ、小さいですか？！

E.R.F.C.でのイベントでお土産用に製作しているTシャツは、男性用のLサイズ。女性参加者の皆様には大きいよな・・・とは思ってたんですが、まさか「小さくて着られない」の声が上がるとは。知らないうちに日本人でそんなに大型化してたんでしょうか。来年からはサイズアップすべき???お渡ししたTシャツが着られなかった方、大きめがお好みの方、どうかご一報くださいませ。来年以降の参考にいたします!・・・とか言って次回のお土産はTシャツじゃないかもですが。

(つの@にし)

毎年駐車場で誘導のお手伝いをさせて頂いて今年で14年だそうです。そら歳も取りますよね。

お迎えする皆様に声掛け誘導をしているのですが、まあ100台もロードスターが揃うのに、同じ仕様の車が一台も無い。ぜんぶ違う。これってすごい事だと思うのです。(プリウ〇の集まりだところはない)

皆さんの愛車を拝見しながら心の中で勝手に一等賞を決めていたりするのですが、毎年悩みます（笑

18年前にロードスターを貰い事故で失って、未だ戻ってこれてないのですが、こんなに沢山のロードスターを見ちゃって目移りしすぎて決められないのも一因ではないのかと思っております。

来年もまた（あるの？）駐車場の入り口で楽しませてもらいます。



（失笑師匠）

皆様、お久しぶりにお弁当タイムのある清里ミーティング、いかがでしたか？生の感想を清里で伺いたかったのですが、娘が熱を出して残念ながら清里入りは断念。お留守番になってしまいました。

今年からお弁当が復活！と決まり、丸政さんにお弁当の注文を入れた所、コロナ禍を経て様々な事が変わってました。例えば「お茶を温める機械がないのでお茶はアイスか常温しかない」

とか「久々のお弁当注文だった事で、丸政さんもすでに過去の注文書類が残っていないから過去のメニューがわからない」とか。

お互いに1からの始まりだった、お弁当の打ち合わせが終わり、一安心。しかし、お弁当箱のサイズを送って頂き、紙で模型を作成したところ……「ひとまわりチイサイじゃん。」

急遽、中身のボリュームを保っていただけるようお願いし、掛け紙を折りたたんで使うことにして当日を迎えました。

皆様にお弁当が配られた頃、旦那から「お弁当箱が言われたサイズよりでかい」と連絡がありました。掛け紙を折りたくなかった旦那は残念ながら、サイズが違った謎は残りました。これも、また良い思い出にして、来年に生かして行きたいと思います。

ところで、豆さん、来年って清里、あるんですっけ？あつたら皆様、来年は、ぜひお会いしましょう！我が家も健康管理には十分注意致しますが皆様も来年まで、ご健康で！

（さっちゃん）

「まさか 35 年目とは。」

写真係で急遽参加した、怪鳥こと渋谷です。

今年はクラブができて 35 年目で、スタッフもみなシニア度アップ。

まさかここまで続くとは・・・感無量。



しかも久しぶりのフル開催ということで、ロードスターの商品企画、それも魅惑の限定車がどんな風に生まれたのか。



NBの限定車にも乗っていた私にとっても興味深い「え、ここまで話しちゃっても大丈夫??？」という裏話を、商品企画部OBそして現役のおふたりから聞くことができるなんて・・・。

またNAレストアのお話は、マツダの人たちが今もいかにロードスターを愛しているのか、ロードスターに乗っている方々をいかに大切にしているかがわかる内容で、感動しました。

いつもながらお弁当も美味しく、お天気も何とか持って、何よりでしたね。

ここまで続けてこられたスタッフの皆さん、遠くから走って来られた参加者の皆さんには、ただただ感謝感激です。

(怪鳥こと渋谷)

受付の「おはようございます」から始まるメインホールあたりの担当は駐車場方面にいくタイミングがあまりなく、メインホールのテラスから美しく並んだみなさんの愛車を眺めて清里ミーティングを堪能しています。お見送りのときに「おつかれさま」のあたたかいお言葉や、笑顔で手を振り返していただき、ありがとうございました。久しぶりのいつもの清里ミーティング、とても楽しかったです。みなさんも楽しんでくださったならとても嬉しいです。



(しのぶ)

毎年、この手の情報を求める方がいらっしゃるなあ・・・という認識はしてましたが、まあいろいろあって(面倒臭いとか忘れたとか何度確認しても数が合わないとか・・・)ちゃんと数えてない年もあったのですが、今年は奇跡的?にちゃんと数えられたと思いますので、報告いたしましょう。(ーー) エッヘン

参加総台数(スタッフ込み)は101台でした。

そしてその内訳は・・・

NA: 38台

NB: 7台

NC: 7台

ND: 37台

他: 12台+@ (徒歩2名)

NDが多いのは流石にそうかな？って思いましたが、それでもわずか一台NAが多い結果となりました。
かろうじて「ユーノスロードスターファンクラブ」の面目を保ったのかな？

でも実は、これもスタッフ除いちゃうとNDが一番多くなるのです。あらまあ。

そして、、想像以上にNB,NCが減っちゃいましたねえ。もう少しバランスするかなあって思ってたのですが。

もっとも、100台限定ってことで残念ながら抽選に漏れた方、泣く泣く欠席された方なども含めるとどうなのでしょう？

数えてみましたよ、いったんお申込みいただいた総数でカウントすると、こうなります。

総台数 182台

NA : 59台

NB : 16台

NC : 20台

ND : 74台

他 : 13台+@ (徒歩2名)

うーん、やはりND強し！です。



自分もNAに乗ってますので、年々いや、日々是維持大変なのはよ～おわかります。

NAはもちろんNB,NCですら既に旧車の範疇に入りつつあるのですから推して知るべし。同志の皆様、ともにねばっこく乗っていきましょうね。

ちなみに清里ミーティングの主催（つまり我々）は、「ユーノスロードスターファンクラブ」と名乗っています。最初の一步から「オーナーズクラブ」ではなく「ファンクラブ」なんです。

だから清里ミーティングは、NAからNDまで（きっと将来出てくるNE?も）ひっくるめて、ロードスターが好きであれば、門戸は開いているつもりです。

ま、抽選はあるんですけどね！イッヒッヒッ・・・(▽▽)

(つのやま@east)

以上、スタッフのあれこれでした。

『ちょっと長い編集後記』

改めまして『E. R. F. C. 清里ミーティング』にご参加の皆さん、ありがとうございました。多くの常連さんを忖度無しの抽選で落選に導いてしまい『常連殺し』の二つ名を頂戴した豆蔵です。(おい)

久しぶりにフル開催に戻した清里ミーティングはいかがだったでしょうか。初参加の皆さんも常連さんもそれぞれに楽しんでいただけたのなら幸いです。

2年間の中断後の一昨年、昨年はずただ牧草地にロードスターを並べるだけのゆるいイベントとしていましたが、今年こそ以前のようにゲストを呼ぼう！再び「日本で唯一の(?)文科系ロードスターイベント」として復活させよう！・・・とまでのアツイ意気込みは無かったものの、スタッフみんな、再び清里ミーティングをしたいと言う思いは同じでした。開催が決まればあとは誰もが自分の役割に向かって動き出してくれます。お飾りの実行委員長は周りから後押しされて動くだけです。ブランクを感じさせることなくイベント開催へと動いてくれたスタッフに感謝です。

また長くお世話になっている山口さんを始めとしたマツダからのゲストの皆さんにも感謝です。特に今年は限定車を企画する御苦労などいろいろとぶっちゃけたお話を伺え、あんなのが欲しいこんなのが欲しいとリクエストするからにはちゃんと買わないといけないなと・・・言ってもそうそう買えるものでもありませんが。(爆)

ところで、スタッフは準備もあって毎年前日入りしたり開催後にもう一泊したりしているのですが、何故かこう思う事が多いのです。

「この天気、明日にとっておけないかなあ」「昨日がこの天気だったらなあ」

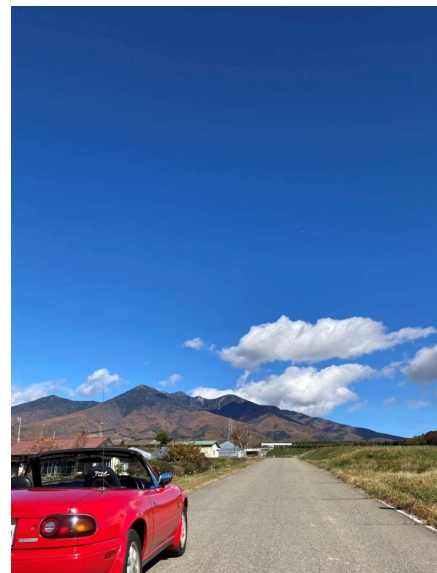
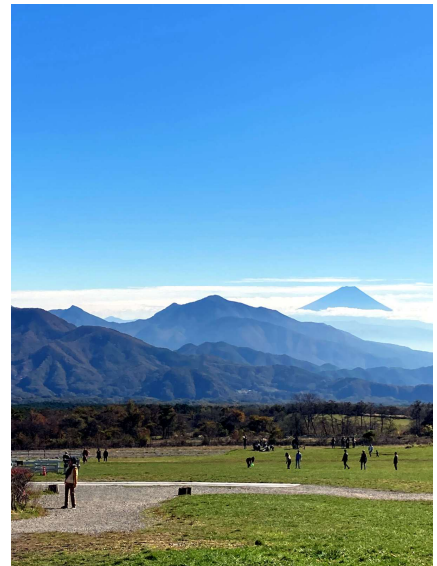
今年もまさにそのパターンでした。当日は本格的に降りしかなかったものの遠くの山々が見通せない天候でしたが、前日は富士の姿も見られましたし、月曜は朝こそ曇っていたものの、午前中のうちに八ヶ岳が青空に映える景色となりました。まったく、日頃の行いが良くない人は誰なのでしょうかね。(自分のことは棚に上げ・・・)

ところでスタッフの原稿を見ると「来年はやるの?」って私宛てに投げかけているのが散見されましたが、所詮私は名ばかりの実行委員長。スタッフの思いと参加希望者の皆さまの思いに従い、必要なら旗振りするだけの立場。確かにお話を伺いたい人もまだいますし、当然今後のロードスターについてもいろいろと気になっています。とは言え、来年のことはまだまだこれからです。

それでもやっぱり最後はこの言葉で締めましょう。

「是非また清里でお会いしましょう」

(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当 : まめぞう)



ERFC Newsletter
ユー/スロードスターファンクラブ通信
2024 vol. 1 2024年12月吉日発行

発行 : EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: https://erfc.sakura.ne.jp